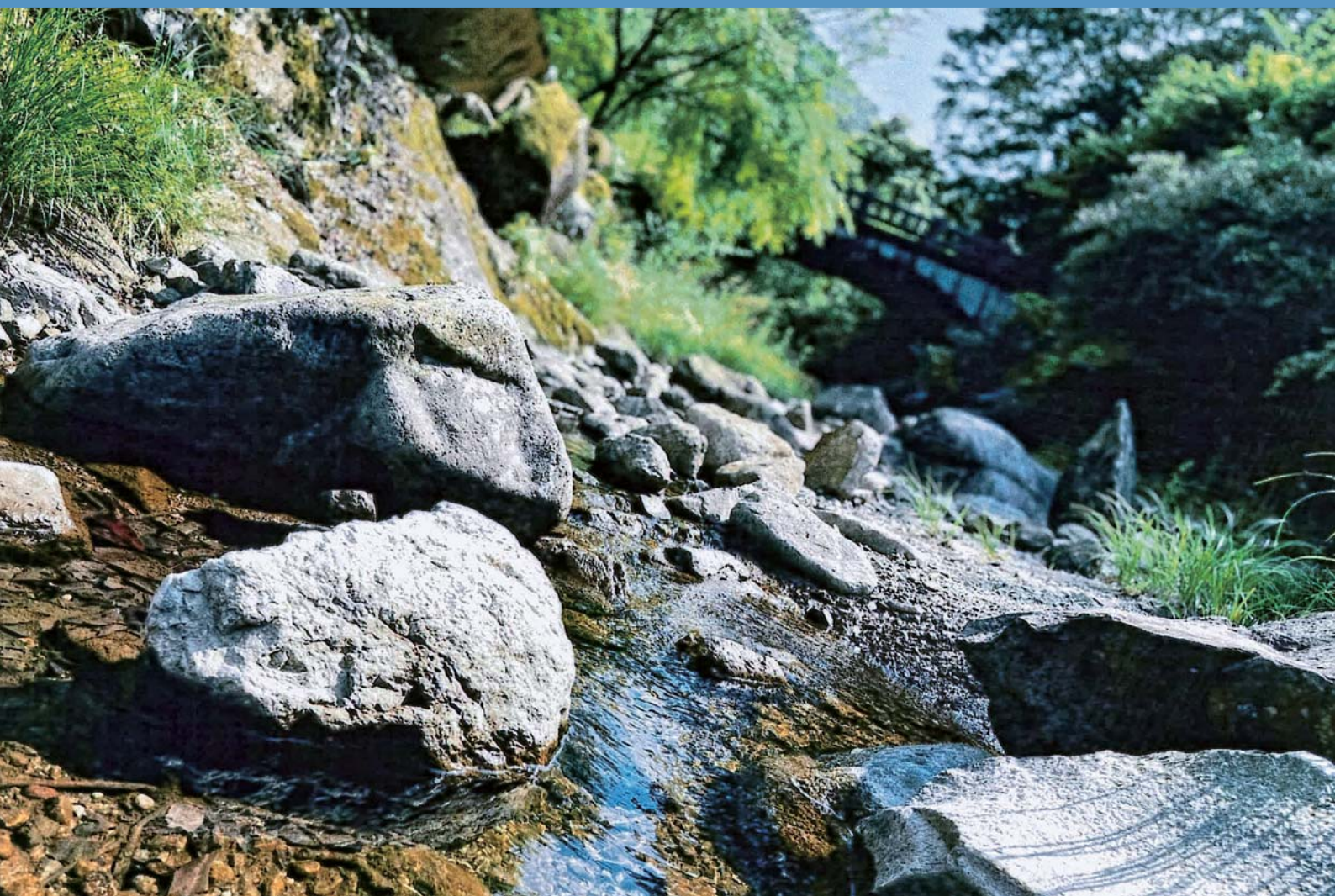




写真提供 「夏の訪れ」 如水館高等学校 井出 帆風 さん

今号のもくじ

ページ	主な内容
2～	副議長の紹介・補正予算の概要
3	議会だよりアンケートにご協力ください
4～	市政を問う 12人の議員が一般質問
10	議員研修会
11	常任委員会報告

ページ	主な内容
12	議員全員協議会
13	委員会の視察
15	政務活動費の報告
16	わがまちに望む夢(沼田小・第一中)



第3回臨時会

第3回臨時会（5月9日）は、条例の一部改正2件、専決処分の承認5件が提出され、原案のとおり可決、承認しました。また、1件の専決処分の報告を受けました。

その後、副議長の辞職に伴う副議長選挙を行い、副議長に児玉敬三議員が再選されました。続いて、議会運営委員会委員の選任を行いました。

新副議長の紹介



副議長
こだま けいそう
児玉 敬三

三原市本郷町上北方
三原市議会議員 3期目 66歳
主な経歴
市監査委員
補正予算特別委員会委員長
経済建設委員会副委員長
厚生文教委員会副委員長

議会運営委員会

委員長	伊藤 勝也
副委員長	住田 誠
委員	田中 裕規
委員	萩 由美子
委員	岡 富雄
委員	政平 智春
委員	中重 伸夫
委員	岡本 純祥

■議会運営委員会は、議会を円滑に進行させる役割を担う委員会です。

第4回臨時会

第4回臨時会（5月24日）は、補正予算1件が提出され、原案のとおり可決しました。また、1件の専決処分の報告を受けました。

補正予算特別委員会（主なもの）

◎コロナ禍による低所得の子育て世帯に、児童一人あたり5万円の給付金 ……1億1730万円を追加

◎60歳以上、基礎疾患のある18歳以上を対象に4回目のワクチン接種 ……2億6千万円を追加

【質疑の抜粋】

問 ワクチンの接種会場が今回三原リジョンプラザから三原市中央公民館に変更されているが、会場の設定にあたって、どのような検討がされたのか。また中央公民館には入り口に段差があるが、高齢者等のスムーズな接種に向けて、どのような対応を考えているのか。

答 4回目の接種については、3回目までと違い、一定の計画期間の中での接種が見込めること、またウィズコロナの考え方があつたなかでの接種であることから、三原会場は中央公民館にした。また入り口の段差等については、これまでと同

様に安全性の確保に努める。

問 今回、接種の対象となっている基礎疾患のある18歳以上の人と、重症化リスクが高いと医師が認めた人について、どういった基準で該当・非該当の判断を行うのか。

答 1回目から3回目までのワクチン接種の中で、基礎疾患がある人として、接種券を優先発行してきた人には、今回も自動的に接種券を発行する。これまで、優先発行をしていなかったが、現在は基礎疾患に該当するので、発行を受けた人とする人については、医師と相談のうえ、あらためて接種券発行の申請をいただくことになる。また、基礎疾患や重症

化リスクの判断については、集団接種会場もしくは個別接種の予診の際に判断をしていただく。

【採決】

議案1件について、討論はなく、全員一致で原案とおり可決した。



第5回定例会

6月定例会は、6月7日から21日までの15日間で開催し、補正予算2件、条例の一部改正3件、財産の取得3件、委託契約の締結1件、請負契約の締結2件が提出され、原案のとおり可決しました。また、専決処分報告1件、7件の報告案件を受けました。

閉会日には、意見書の提出1件が発議され、審議の結果、原案どおり可決され、意見書を送付することを決定しました。

補正予算特別委員会（主なもの）

◎液化天然ガスなどの価格高騰の影響により、60施設の電気料金の契約金額を変更
：1億684万5千円を追加

◎原油価格や物価の高騰に直面する子育て世帯への臨時特別給付金、18歳までの児童一人当たり1万5千円の支給
：2億130万円を追加

◎中小事業者負担軽減事業として、1事業者あたり10万円を支給
：1億円を追加

【質疑の抜粋】

問 この度の電気料金の値上げに係る費用を今年度当初予算編成に間に合わせることはできなかったのか。

答 電力市場の取引価格が昨年9月頃から本年3月までの半年間で、約2倍に高騰したことを受け、この時期になって初めて事業者が値上げを提示したもので、令和4年度予算に反映させることができる状況ではなかった。

問 各施設において電力を消費する割合が大きい

のはどのような設備か。

答 本庁舎について言えば、エアコンによる電力消費が、全体の6割から7割を占めている。

問 中小事業者負担軽減支援金の支援件数を1,000件と想定した根拠を問う。

答 今回の中小事業者負担軽減支援金はコロナ禍に加え、原油価格や電気・ガス料金等の高騰による影響を受けている事業者の負担を軽減するために支給するもの。

支援件数は昨年11月から3月の間に、コロナ禍

で売り上げが減少した事業者者に支給された国の事業復活支援金の対象者に、市が支給している固定費支援金の申請見込み件数800件に加え、4月から6月の間に、売り上げが減少した事業者数の200件を見込み、1,000件としたものである。

【採決】

議案2件について、討論はなく、全員一致で原案どおり可決した。

「議会だより」に関するアンケート調査にご協力ください

本市議会では、定例会ごとに「議会だより」を作成し、市民の皆様にご覧いただき、市民の皆様からのご意見を伺い、議会の内容を伝えることを念頭に編集を行っています。

この度、市民の皆様が「議会だより」にどのような印象をもち、関心を寄せているのかを把握し、より読みやすい「議会だより」の作成に取り組みます。アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

【回答方法】

次のいずれかの方法でご回答ください。（1人1回まで）

- ・二次元バーコードを読み取りご回答ください。
- ・本庁舎1階ロビー、各支所にアンケート用紙を設置していますので、会場で記入後、回収ボックスに入れてください。

【回答期限】

- ・令和4年8月31日まで



※ あてはまる番号を選んで○をつけてください。

問1 「みはら市議会だより」を読んでいますか					
1 毎日読んでいる	2 時々読んでいる	3 ほとんど読んでいない			
4 読んでいない → 問2→問3→問8へ	5 存在を知らない → 問3→問8へ				
問2 「みはら市議会だより」をどのような方法で受け取りますか					
1 新聞折込	2 郵送	3 公共施設			
4 市議会ホームページ	5 その他()				
問3 市議会の情報を何を通して得ていますか(複数回答可)					
1 みはら市議会だより	2 市議会ホームページ	3 三原ケーブルテレビ放送			
4 YouTube	5 議員から	6 議会の傍聴			
7 情報に触れることはない	8 その他()				
問4 「みはら市議会だより」で関心のある記事は何ですか(複数回答可)					
1 表紙	2 予算関連記事(補正・決算)	3 一般質問(総括質問)			
4 常任委員会報告	5 議員全員協議会	6 賛否一覽			
7 編集後記(つづき)	8 わがまちに望む夢	9 特になし			
10 その他()					

「議会だより」を「スマホ」でご覧いただけます



今月号から、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で、議会だよりの記事を配信します。スマートフォンやタブレット端末などで、いち早く簡単に閲覧できますので、ぜひご利用ください。閲覧は無料ですが、アプリのダウンロードや情報の受信にかかる通信料は利用者負担です。

※マチイロとは・・・株式会社ホープが運営する、自治体の発行する広報誌・ホームページなど各種行政情報を配信するスマートフォン用アプリです。

三原市公式LINEでも発行日に通知しますのでご覧ください。



定例会では6月9日、10日に一般質問が行われ、12人の議員が質問に立ちました。
その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。
発言内容は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、三原市議会ホームページで閲覧できますのでご覧ください。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/gikai/>

三原市議会 会議録検索 三原市議会YouTube

(会議録公表は、議会終了後おおむね3ヵ月を要しますのでご了承ください。)



※各議員の二次元コードを読み取っていただくと、それぞれの一般質問をご覧いただけます。



三原市歴史民俗資料館

問 隆治氏は、地元三原

に経費を計上し、議決後速やかに購入手続きを行う。また、この夏に、リジョンプラザで(仮称)御披露目展を開催する予定である。

答 今会期の補正予算案と報道された小早川隆治氏が所有する隆景公に関する史料について、対応を問う。

元ゆめきやりあに歴史博物館を



田中 裕規 議員
たなか ひろき



答 公共施設再編を主軸に、元ゆめきやりあセンターを歴史民俗資料館の移転候補先として、様々な点から検討している。

問 駅北側は歴史文化ゾーンと位置付けている。駅北にある元ゆめきやりあセンターを歴史民俗資料館に改修し、隆景公史料の常設展示も設けて、本市の歴史と文化を学べる施設とし、来訪者を駅北へ誘う散策の拠点施設にすべきと考えるかどうか。

答 一定の機能や成果を果たしてきたが、施設の経年劣化や耐震構造を有しないなど改善すべき課題がある。施設の移転について検討を進める。

で史料を保管し活用を望んでおられる。現在の歴史民俗資料館では、保管し展示活用はできない。現在の施設をどう評価しているのか。

答 今後、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを進めるための意識を醸成するために、早い時期に宣言を行った。

問 公共施設のCO2排出量をゼロにしても、全体の1%にも満たない。このようなやり方では、宣言の達成は極めて厳しく、単なるパフォーマンスに感じるが、中・長期的にどう考えるのか。

答 今年度、県の計画が改定され、CO2排出量削減に向けた具体策が示される予定であり、ゼロカーボン達成に向けた有効な取り組みを検討していく。

問 3月に市長は、「三原市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに、CO2排出量の実質ゼロをめざすとした。本市のCO2排出量は産業部門が73%を占めており、産業部門の排出量削減が必要不可欠であるが、どのような構想を持って宣言したのか。

ゼロカーボンシティへの取り組み



すみひろ
角広

ゆたか
寛 議員



水道の統合は本当に大丈夫か？

問 統合して料金統一となれば、赤字の自治体の負債を負担して、本市単独経営よりも料金が高くなる危険性があることを認識しているか。

答 料金統一は各自治体の財政水準や整備水準を同等レベルにする必要がありハードルは高く容易にできるものではない。

料金統一までは区分経理でありその危険性はない。

問 統合して赤字が増えれば、安定した水道供給体制の構築を口実に民営化される危険性があるのではないか。

答 企業団による統合の目的は、地方公共団体の責務として将来にわたり安全・安心な水を適切な料金で安定供給できる水道システムの構築であり、民営化に係る協議や検討は行っていない。公営を維持していくものと

認識している。

問 水道の統合は、本来事前に市民に対して情報公開し、意見交換会も必要な重要案件である。市民に対する方針説明では、少しの節約で単独経営できる可能性や、メリット・デメリットについて詳しく情報提供されるのか。

答 統合可否の判断をした際には、市民の皆様には判断に至った内容等について市のホームページなどにより公開する。

投票率アップに向けた教育の取り組み

問 20歳代のうち、国政選挙で投票するのは3人に1人しかない。

ヨーロッパ各国での取り組みを参考に、義務教育の中で実際の政党の公約や論争点について調査し考察する宿題を課し、

経済対策や男女格差、外交問題など、自身の生活にどう影響するかを学習すれば、必ず関心が高まり投票率が向上するのではないか。

答 現在、社会科の授業において選挙と政治参加について多面的・多角的に考察させる学習に取り組んでいる。引き続き、児童生徒がよりよい社会の実現に向けて政治参画意識を持つよう、主権者教育の充実に努めていく。

■このほかの質問事項
●ウィズ・コロナ時代の観光施策について

「観戦から参加へ」
あきらめないで
投票しよう！



一般質問

ゴミ屋敷条例の制定について



しょうだ よういち
正田 洋一 議員



問 令和2年9月議会にて提案したいいわゆるゴミ屋敷条例について、再提案を行う。課題感を再び整理すると、私が強く課題として捉えている空き家問題における倒壊危険空き家や、その手前段階の空き家及び空き地に対し、不法投棄や片付けられていないゴミが滞積劣化し、まちの景観を損ね、道路を占有するなどの問題が発生している。それを解決したい。

過去の質問及び協議では、他市町の事例を研究していきたいという答弁だった。また、ゴミ屋敷をどのように定義づけするのかも難しい課題だ。現状の条例制定の検討状況及びゴミ屋敷の定義について見解を問う。

答 まず、ゴミ屋敷の定義は、明確に規定されているものではなく、一般的に物品が滞積、散乱した状態、樹木の繁茂、放置廃棄物に起因する悪臭、害虫等の発生により、周辺住民に著しい影響や障害を及ぼす状態にある空き家等で、他市の条例の定義も様々であり、慎重に定義づけを行う必要がある。

当課が異なるが、認識に違いがあるかを問う。
答 条例制定について、改善指導に至ったケースは少数にとどまるため、直ちに着手する状況にないが、何らかの対策が必要と判断した場合に、着手できるような準備を進める。また、関係課が課題を共有し、連携して取り組む。

■このほかの質問事項
●中学校の部活動の在り方について
●関係人口の考え方と施策の目的について



ゴミ屋敷のイメージ



すぎたに たつじ
杉谷 辰次 議員



下水道使用料改定(案)について

問 上水道でなく井戸水を使用している下水使用量の算定は、1世帯当たり4人のとき26㎡とし、人員が1人増減する毎に6㎡を加減する規定がある。例えば使用量20㎡だと3人世帯となり、三原・本郷地域での料金は2,750円(従量制で算定)、大和地域では4,290円(人頭制で算定)となる。人頭制を止めて従量制で算定してこそ公平ではないか問う。

答 大和地域においては、現在も上水道の整備途中であり、人頭制による下水道使用量の算定を継続する必要があると考えている。使用料金について、三原・本郷地域は全て污水处理場で集合処理していることに対し、大和地域は約半数が各家庭に設置している合併浄化槽による個別処理のため、維持管理費が三原・

【下水道使用料金表】

(料金は税込み表示)

現行	三原・本郷地域	従量制	8㎡	14㎡	20㎡	26㎡
		月額料金(A)	1,210円	1,826円	2,750円	3,806円
	大和地域	人頭制(人数)	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯
		月額料金(B)	2,750円	3,520円	4,290円	5,060円
	比較(B)-(A)		1,540円	1,694円	1,540円	1,254円
改定案	三原・本郷地域	月額料金(C)	1,573円	2,365円	3,553円	4,939円
		増額(C)-(A)	+363円	+539円	+803円	+1,133円
	大和地域	月額料金(D)	3,575円	4,576円	5,577円	6,578円
		増額(D)-(B)	+825円	+1,056円	+1,287円	+1,518円
	比較(D)-(C)		2,002円	2,211円	2,024円	1,639円

三原・本郷地域と大和地域の下水道使用料金

の状況の違いから生じているものと認識している。将来にわたって下水道事業を維持していくためには、使用料の増額は避けられないが、一方で利用者にも公平に負担して頂くことも重要と考えている。

一般質問



三原やっさ祭り

問 ①本市の観光行政の展望は②やっさ踊りの振興について③市のサポートは④やっさ踊りを小中学校の課題に出来ないか⑤竜王みはらしラインの景観を守る取り組みは。

答 ①各組織等が個別に行ってきた観光振興を、地域連携DMOが一元的に牽引役として担うことで観光誘客を促進し、地域の力を引き出すことが今後の観光施策の推進に資している。

②やっさ踊りの出前講座を通じて、踊りや地方の習得、人材育成に努め、振興を図っている。

③市のサポートとして、協議会の事務局を観光課に置き、月1回の定例会議の開催補助や講師の派遣に係る連絡などを担っている。

④教科学習を活用して、やっさをより身近なものにするため、教科書記載の祇園ばやしなどと併せて三原やっさ節を聞き、学習する場を設けるよう指導している。

⑤伸びた樹木等により、多島美などの眺望が損なわれ、おもてなしの観点からみて、改善すべき点がある。今後、眺望を確



まさひろ ともはら
政平 智春 議員



本市の観光施策について

問 ①休憩をとれない実態を把握しているか②現場をどう指導してきたか③どのような業務改善を行ったか。

答 ①②管理職に対して、教職員が取得可能な休憩時間を設定するよう指導している。休憩時間を意識した働き方が教職員に十分浸透していないと推察している。校長会などを通じて繰り返し教職員の休憩時間の取得について周知する。各学校が設置している準衛生委員会において、休憩時間が取れる環境づくりに努める。

③各学校の業務改善の優れた事例を校務支援システムの機能を活用して、教職員へ直接配信する取り組みを開始した。加えて、教職員が体調などの悩みを保健師に直接相談できる仕組みを作った。

学校現場で教職員の休憩の取り方

保するための効果的な樹木の枝打ちについて検討する。



みやがき ひでまさ
宮垣 秀正 議員



コミュニティスクールについて

問 導入に向けた本市や他自治体の取り組み状況、また「地域とともにある学校」について問う。

答 全国の自治体の取り組み状況については、令和3年5月時点の実施状況調査によると、学校運営協議会設置済みの割合は、全国の自治体で57・4%、広島県68・4%、全国の学校の33・3%、



8050問題ひきこもりについて

問 80代の親が50代の子どもの生活を支える、ひ

答 早期実現に向けた取り組みについて問う。
答 総合教育会議で、市長と教育委員会が継続的に協議し、熟議による意思形成の過程にある。国や県の資料等や先進地域の事例を参考にしながら、コミュニティスクールの導入を進めていきたいと考えている。

きこもりの実態把握をされているか問う。

答 保健福祉課にひきこもり相談窓口を設け、相談実績は年間約60件あり、必要な支援の実施や他機関との連携を行っている。今年度は対策強化を目的に、民生委員・児童委員やひきこもり支援機関、高齢者相談センターやケアマネジャーなどにアンケート調査による実態把握を実施し、今年度上半期には、課題を整理する予定である。

問 現実、当事者も家族も自ら声を上げることが難しい状況である。本市は当事者と家族の支援を、今後どのように取り組んでいくか問う。

答 相談窓口・支援機関のさらなる周知と情報発信、支援のレベルアップ及び支援体制強化のための支援従事者研修会開催等を計画している。これらの取り組みを進めるとともに、課題を整理し、ひきこもり支援に関わる関係課と連携し、本市に求められるひきこもり支援策・支援体制を検討する。

一般 質 問

農業経営収入保険料の補助について



いとう かつや
伊藤 勝也 議員



問 コロナウイルス禍に対する地方創生臨時交付金活用検討参考集として農林水産省が示したアイデア集には、「収入保険」が地域経済の維持対象として表示されている。

県内では、江田島市、東広島市、府中市、他2町は、「収入保険」制度等を対象に支援補助を実施している。

本市でも、「農業者の収入保険料の支援」を対象とすべきと考えるが、本市の取り組みを問う。

答 農業経営収入保険は、農業経営全体を対象とした保険制度で、全ての農産物を対象に自然災害による収入減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補填する制度である。

補填の仕組みは、過去5年間の収入の平均を



燃料、肥料高騰の中での田植え

基準収入として設定し、この基準収入の9割を下回った場合に下回った額の9割を上限に補填する制度で、青色申告を行っている農業者が加入できる。

県内の他市町において、先の地方創生臨時交付金を財源に、収入保険の保険料に充当している事例はあるが、米価の下落はコロナウイルス発生以前から続いていたものであり、人口減少や食の多様化がその原因であることから、本市では交付金は活用していない。

しかしながら、この度、原油価格・物価高騰対応分として、地方創生臨時交付金が追加交付されたこと、また、燃料費や、肥料・農薬などの高騰が農業経営を圧迫していることが明らかであることから、交付金を活用した支援策について、検討していく。



寺田 もとこ
元子 議員



立地規制型の水源保護条例を

問 水源保護条例に関する2回目の意見交換会が開催され、参加者からは「本気で市民の命と健康を守る条例を」、「立地規制型条例が不可能とは市の姿勢が問われている」など厳しい意見が相次いだ。条例では水源保護地域を指定し、規制対象として産廃処分場を明記すべきではないか。

答 議員や市民の意見を参考にしながら真摯に向き合う。法令との整合性や各種事業活動、農業等への影響もあり、難しいなかでの検討となる。

犠牲者ゼロをめざす防災・減災対策を

問 最近の10年間で、大雨特別警報級の豪雨は7倍も増え、災害発生も急増している。

急傾斜の特別警戒区域数と区域内の人家の数は。また、急傾斜地崩壊対策工事が必要な268箇所の中には指定避難所が40箇所あり、二次被害に遭いかねない。事業計画を作り対策工事を促進すべきではないか。

答 市長は意見交換会で「目的の一つだ。水源を守るための条例を作る」と答えたが、真意を問う。産廃事業者と本市との事前協議および同意は、

答 急傾斜の特別警戒区域は1839箇所あり、区域内に人家は2958戸と集合住宅が66棟ある。学校などの避難所となる箇所を中心に40箇所の優先度を早期に検討し、計画的に進めたい。

大型事業はいずれも目的を持って進めており、止められない重要な事業である。防災・減災対策はハード・ソフトの両面からの取り組みが重要である。ハザードマップによる危険箇所の確認方法の啓発やマイ・タイムラインの作成の取り組みを進め、確実な避難行動の実践につなげたい。



深小学校上地区急傾斜地崩壊対策工事

一般 質 問



中迫 ゆうぞう
勇三 議員



情報通信格差に向けた取り組み

問 他市町では、高速インターネット環境が進む中、本市では市中心部を除く約2万世帯に情報通信格差が生じている。課題解消に向け見解を問う。

答 他市町に先んじて平成14年度から国が定める超高速ブロードバンドサービスの要件を満たしており、市内の情報通信格差の是正は実現している。

現在、通信機器を順次更新しており、令和10年度前半には、市内全域で1ギガbps（ビーピーエス）の通信が可能となるように進めている。

問 ①国が定める超高速ブロードバンドサービスの要件と制定時期は。②政府は地域活性化策デジタル田園都市国家構想に沿って令和9年までに高速インターネット通信が可能な光ファイバー回線を普及とすることだが、最大通信速度を何bpsと認識し、また、本市の光回線整備のスピード感について。

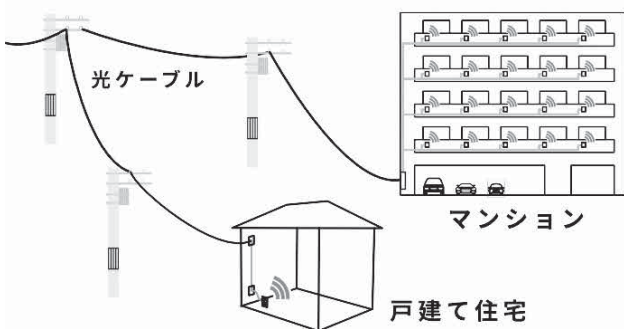
③財源については、国の補助金活用等の要件等各市町の事情でのアプローチの手法をどのように分析されているか。また、本市での支障・問題点は。④統合されるデジタル田園都市国家構想交付金の活用見込、また、別の交付金や財政調整基金活用について見解を問う。

答 ①国の定める要件は30メガbps以上を想定、平成18年度に公表された次世代ブロードバンド戦略2010に示され、現在も要件は変更ない。

②本市が、通信速度を必要とする議会中継など、大手動画配信サイトによる動画再生の推奨は5メガbpsであり現行の100メガbpsで問題は無い。また、令和2年度に情報通信基盤整備事業を財源に、機器の更新を前倒し遅滞なく対応中。

③他市町の状況を分析する考えはないが、本市が整備した地域に特段の支障や問題は無い。

④今後、新たな交付金の詳細が明らかになり、活用できる内容であれば、積極的に最大限活用する。



光回線のイメージ



萩 由美子 議員



女性の活躍・人材育成について

問 国の「女性デジタル人材育成プラン」が閣議決定され、就労に直結するデジタルスキルを身に付けた女性人材育成の加速化を目標に策定された。デジタル分野への女性の参入促進、育児・介護等でフルタイムの仕事ができない女性も柔軟な働き方でデジタル就労ができる環境の整備、官民連携の取り組みを展開していくことがポイントである。早期の実現ができないか問う。

答 国は「女性デジタル人材育成プラン」が閣議決定され、就労に直結するデジタルスキルを身に付けた女性人材育成の加速化を目標に策定された。デジタル分野への女性の参入促進、育児・介護等でフルタイムの仕事ができない女性も柔軟な働き方でデジタル就労ができる環境の整備、官民連携の取り組みを展開していくことがポイントである。早期の実現ができないか問う。

① 令和3年12月定例会でこの問題を質問した。それ以降どのような調査・検討をしたのか。

② 「女性デジタル人材育成プラン」をどのように受け止めるか。

答 ①長野県塩尻市や民間事業者にはアリンクを行った。テレワークを活用することで、好きな時間に安心して働ける仕組みが構築されていた。人材育成から就労までが一貫して実現している。

本市における仕組みの構築には様々な整理が必要があるが、引き続きデジタル人材の育成から就労までの取り組みを検討していく。

② このプランは今後3年間で集中的に取り組むべき重要政策を取りまとめたものであると受け止めている。国と連動し、時期を失することなく積極的に取り組み、女性が好きな時間に安心して働ける仕事と生活のバランスが取れた多様な働き方の実現を図っていく。

① 令和3年6月定例会で、介護タクシー、福祉タクシー等の利用に対する助成をしてどうかを

重度障がい者の移動支援について

令和3年6月定例会で、介護タクシー、福祉タクシー等の利用に対する助成をしてどうかを

提案した。その後の検討状況と今後の取り組みにおける目標を問う。

答 地域自立支援協議会内に当事者、支援団体、福祉専門職、行政などで構成する社会資源開発専門部会を設置し現状説明を行い、課題、意見を聴取した。

年内には移動支援が必要とされる重度障がい者の範囲や制度の在り方、必要となる費用や財源等を調査研究し、全体の方



介護タクシー

●このほかの質問事項
●育児・子育て世帯に訪問支援を

一般質問



徳重 政時 議員



GIGAスクール構想推進と現状

問 ICT端末等の不具合の発生状況と、その対応について問う。

答 令和3年度の故障発生状況は、端末6,932台中、有償修理が57件で無償修理が64件の合計121件。電源制御、充電機能、キーボードへの対応が主なもの。

問 端末等の有償修理の内、4件に故意や重大な過失があった事案とは。

答 遊んでいて端末を踏んだ、犬がアダプターを噛んだ、アダプターを紛失など3件が家庭内で。小学校内で端末を投げた事案が1件である。

問 端末を使用した授業について、教育現場からの意見や要望はあるか。

答 教職員は、まだ十分に使い慣れていない、リテラシーが追いつかないとの声があり、基礎から学ぶ端末活用研修を5月に実施。不安を感じたり能

力開発を望む教員への研修を着実に進めていく。

問 児童生徒を対象にした端末活用状況把握アンケートの結果を、どのように捉えているか。

答 2回のアンケートでは、端末を利用する授業は楽しいか、勉強がよく分かるかの問いに、児童生徒いずれも、肯定的評価が9割に達する結果となった。

問 全国主要自治体調査に、約半数の学校が弊害として学習と関係ないサイトの閲覧が41%あり、授業が成立しない例もある。また、不正アクセスやいじめも多発している。本市の実態と弊害への対応策は。

答 授業が成立しない、端末の使用によるいじめの報告はない。家庭では、フィルタリングで利用時間や接続制限をかけ、児童生徒、保護者に「ICT端末の活用の約束と取り決め」を提示、確認をしている。

問 タイピングの未習得が端末操作の壁になるのではないか。

答 小学校3年生で学習するローマ字、アルファベットの習得は欠かせない。端末の活用により、楽しみながらローマ字入力でのタイピング技術が習得できるように、キーボード入力練習サイトの活用を図っている。



GIGAスクール参観日の様子 (西小学校)

常任委員会報告

総務財務委員会

6月定例会付託議案審査

議62 「三原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」

【概要】 開票管理者等の報酬の算定方法の見直し、投票管理者の交替制が認められた事に伴う報酬額及び選挙長等の報酬額の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

問 投票管理者に交替での出務が認められるが、人材確保の点で優位に働くのか問う。

答 投票時間が早朝から夜間まで長時間に及ぶことから、これまで人材確保に苦労した。交替制の導入は効果がある。

問 開票管理者の報酬面での条件が悪くなるが、どうか。

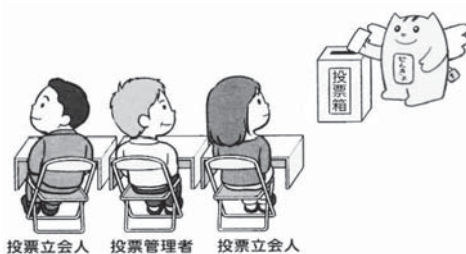
答 開票時間が日をまた

いの場合、2日分の報酬を支払ってきたが、この改正により1日分の報酬になる。

選挙管理委員の中から開票管理者を選定しており、理解いただいている。

【採決】

採決の結果、議第62号他7件は、全員一致、原案どおり可決した。



投票立会人 投票管理者 投票立会人
「投票ガイドブック」
(公益財団法人明るい選挙推進協会)

行政説明案件

「受益者負担の適正化基本方針の骨子(案)について」

【概要】

公の施設に係る使用料等について、「受益者負担の適正化」を図るため、基本方針を策定の上、必要な見直しを行う。

問 コストの見える化をしないと市民の理解が得られないのではないか。

答 今回の方針を取り組む上で受益者負担となる経費等は、見える形で進める。

「ペアシティ三原西館1階の賃貸借について」

【概要】

(株)八天堂事務所として一部を賃貸する。

問 この度、(株)八天堂が事務所として入居するが、駅前には商業エリアという考え方はなくすのか。

答 従前と変わらず駅を含めた中心市街地は、商業エリアで賑わいの拠点として、新たな活性化計画の認定をめざし作業を進めている。

経済建設委員会

6月定例会付託議案審査

議68 「三原市営住宅設置、整備及び管理条例の一部改正について」

【概要】 特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則の一部改正に伴い、里親制度における里子等が親族に準ずる者として、特定公共賃貸住宅等に入居することが可能となったことから、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

問 今回の改正により、入居資格が緩和された里子等親族に準ずる者の定義はどのようなものか。

答 法令では、里親制度に基づく里子のほか、自治体独自のパートナーシップ制度に基づく同性パートナーが想定されている。

このうち、同性パートナーについては、既に本市でパートナーシップ宣言制度を導入した令和4年1月1日から全市営住宅で入居可能としている。

る。

問 入居資格が緩和されることで、入居できない方が増えないか、また、これまでに里子と同居を希望される方の相談はどの程度受けたのか。

答 本市において里親登録をしている世帯は、令和3年4月1日時点で10世帯であるが、これまで相談を受けたことは無く、入居希望者の急激な増加や入居できない方の増加は想定していない。

【採決】

採決の結果、議第68号は、全員一致、原案どおり可決した。

行政説明案件

「広島県下水道事業広域化・共同化計画の取り組み状況について」

【概要】 下水道事業の経営環境の悪化を見据え、県と各市町で、施設の広域化や維持管理の共同化などに取り組むことにより、経営基盤を強化し、持続可能な事業運営を確保することを目的に、広島県下水道事業広域化・

共同化推進会議で協議及び調整を進めている。

【主な質疑の内容】

問 取り組みの中で、どのような課題があがっているのか。

答 汚泥燃料化施設の共同設置は、処分コストが現状より高額となるため見送った。

また、維持管理費の共同化については、対象業務の発注時期及び委託内容が、各自自治体でバラバラであり、統一には課題がある。

災害合同訓練の実施は、課題なしとしたが、初回のため、地震発生時の伝達訓練だけでは実施していない。災害時対応はこれからである。

問 汚泥燃料化施設の共同設置により、CO2排出量削減の効果はないのか。

答 汚泥の運搬距離が長くなり輸送時のCO2排出量は増加するが、汚泥を代替燃料化することにより全体としては排出量削減となる。しかし、現状よりコスト高となるため設置を見送った。

議員全員協議会 6月20日

三原市の財政は大丈夫？

【概要】 今後5年間の財政計画について説明があった。

【問】 毎年のことながら、歳入が歳入を上回る赤字の財政計画でよいのか。民間では考えられない。

【答】 財政調整基金からの繰入れが赤字補填となる。この赤字への対処としてどうしていくかが大事。

【問】 住宅メーカーによる調査で本市住民の満足度は低い、改善の思いが財政計画に込められているか。

【答】 市民の皆さんの期待に応えるために頑張っているが、財源は限られる。現実には根差した夢を市民の皆さんとともに実現していきたい。

駅周辺の活性化は進んでいるの？

【概要】 国の支援を受け



本町通り(西国街道)の将来イメージ

るため、来年度から5年間の第2期中心市街地活性化基本計画の策定について説明があった。

【問】 これまでの5年間、大型事業にも取り組まれてきたが、全く効果が出ていないのではないのか。

【答】 今後は商店街の魅力向上にも取り組み、ソフト面も充実させていく。

【問】 本町地区の西国街道整備に13億円を投資予定だが、どう変わるのか。市民や議員に対してもっと情報提供すべきでないか。

【答】 本町通りを中心に歴史的建築物と調和したまちなみを整備する考えだ。経済建設委員会で説明させていただいている。

【問】 本町では古い商店が次々に解体され駐車場になっている。大丈夫か。

【答】 解体の規制はできないが、建物の修景工事に對する補助制度を設け、保存対策としている。残った歴史的建築物と調和したまちなみづくりにより住みやすい本町をめざす。

水道統合※の有効性は？

【概要】 冒頭、市長が水道統合による企業団に参画することを表明。続いて統合の有効性について説明があった。

【問】 本市から選出される企業団協議会議員が1人なのは不公平ではないか。広域災害の応援依頼も単

独経営の方が確実で早い。統合は百害あって一利無しではないか。

【答】 準備協議会で協議を行い、給水人口10万人未満の自治体は議員1人としているため不公平とはいえない。災害時には企業団に参画する他の事業体からも応援を受けられるなど迅速な対応ができるメリットがある。

【問】 市民が緩速ろ過の美しい水を希望してもその声は届かなくなる。10年後の姿も有効性ばかり強調され、デメリットについて明確な回答がないのは問題ではないか。

【答】 西野浄水場の緩速ろ過をなくすという検討はしていない。全国的にも水源水質の悪化などから急速ろ過が増えているのが現実だ。県の宮浦浄水場が西野浄水場に移転する際には急速ろ過を整備し、緩速ろ過の西野浄水場と施設統合することで緊急時の水運用が可能となり有効性はある。

【問】 財政的に有効なのは当然だが、参画が悪のような説明は、違和感がある。検討

の経緯は市民に届いていない。もっと誠実に説明すべきではないか。

【答】 今後も広報紙やホームページで発信し、意見を伺いながら丁寧な説明に努める。

【問】 経済性だけでなく、安全性や料金値上げについての市民の切実な声をどう届けていくつもりか。

【答】 毎年度、事業内容については市議会や市民へ事前に説明し、議員や市

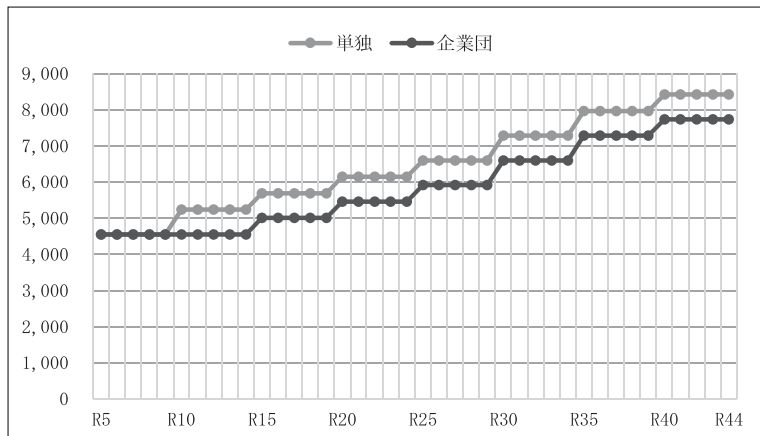
民の声をしっかりと企業団に届ける。

※水道統合とは：

令和2年6月、県が策定した「広島県水道広域連携推進方針」に基づき、県内水道事業の統合について協議を開始した。令和3年4月、県と15市町により「広島県水道企業団設立準備協議会」を設立。現在、不参画を表明した安芸太田町を除く14市町と県により令和4年11月の企業団設立、令和5年度からの事業開始をめざし、協議を進めている。

【水道料金の推移】（単独経営と企業団経営の比較）

（シミュレーションモデル）世帯人数3～4人・メーター口径20mm・1ヶ月使用水量20㎡



（注意）事業計画素案の値による推移であるため、今後策定される事業計画により変動する可能性がある

委員会では視察や調査・研究を行っています

総務財務委員会（4月27日：東広島市）

今年度、政策提案の課題としている「人口対策」について調査・研究を行うため、東広島市にオンライン視察を実施しました。人口動向、移住・定住、関係機関との連携、情報発信の状況等について調査の結果、地理的環境の違いがありながらも、部局を横断した課題や施策の整理、案件ごとのワーキンググループづくりや興味を引くホームページやテクノロジーを駆使した情報発信など共有課題も得られた視察となりました。



オンライン視察の様子

厚生文教委員会（3月16日：三原市清掃工場及び三原市不燃物処理工場、5月27日：三菱重工業(株)三原製作所）



不燃物処理工場の視察の様子

本委員会では、「ごみの減量化」について調査・研究を行っています。ごみの排出の現状を調査するため、清掃工場及び不燃物処理工場を視察し、実態を把握しました。また、事業系ごみの減量化政策を研究するため、三菱重工業(株)三原製作所にご協力いただき、視察をさせていただきました。分別を徹底し、可能な限り再利用、再資源化することで、廃棄物の排出量を削減されていました。減量化の姿勢や取り組み内容など、今後、本委員会の政策提案に活かしていきます。

経済建設委員会（3月29日：全農ひろしまチャレンジファーム、4月28日：広島市農林水産振興センター）

本委員会では、「農業の振興・新規就農者の促進」について調査・研究を行っています。

調査・研究のため、全農ひろしまチャレンジファーム三原農場・広島市農林水産振興センターへ現地視察に行き、現状や先進事例を聴き取り、課題等の意見交換を行いました。

今後も、先進事例等の視察や農業に携わっている方の意見をお聞きしながら、本市の農業の振興・新規就農者の促進について調査・研究を行っていく予定です。



広島市農林水産振興センターの視察の様子

令和4年第3回臨時会 賛否結果一覧

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第57号	三原市職員の給与に関する条例及び三原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	5月9日	原案可決
議第58号	三原市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例及び三原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	5月9日	原案可決
報第5号	三原市吏員退職料、退職給与金、遺族扶助料及び死亡給与金条例等の一部を改正する条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月9日	承認

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
報第6号	三原市税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月9日	承認
報第7号	三原市都市計画税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月9日	承認
報第9号	三原市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月9日	承認

【賛否が分かれたもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	村上	岡田	角田	中迫	住田	高原	木村	田中	杉谷	宮垣	正田	萩	児玉	岡	徳重	伊藤	政平	新元	陶	中重	岡本	梅本	分野	寺田	仁ノ岡
報第8号	三原市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分に対し承認を求めることについて	5月9日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○

賛成：○ 反対：× 退席：退 本会議欠席（早退を含む）：欠 除斥：除 議長：議〔議長は採決に加わりません〕

令和4年第4回臨時会 賛否結果一覧

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第59号	令和4年度三原市一般会計補正予算(第1号)	5月24日	原案可決

令和4年第5回定例会 賛否結果一覧

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第60号	令和4年度三原市一般会計補正予算(第2号)	6月21日	原案可決
議第61号	令和4年度三原市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)	6月21日	原案可決
議第62号	三原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	6月21日	原案可決
議第63号	三原市税条例等の一部改正について	6月21日	原案可決
議第64号	財産の取得について	6月21日	原案可決
議第65号	財産の取得について	6月21日	原案可決
議第66号	財産の取得について	6月21日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第67号	呉線三原・須波間和田49号線1号橋梁外1補修工事委託契約の締結について	6月21日	原案可決
議第68号	三原市営住宅設置、整備及び管理条例の一部改正について	6月21日	原案可決
議第69号	糸崎小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)請負契約の締結について	6月21日	原案可決
議第70号	本郷中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)請負契約の締結について	6月21日	原案可決
発第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	6月21日	原案可決

※ 6/21の本会議は、村上議員は欠席

令和3年度 政務活動費の執行報告

政務活動費は、地方自治法と条例に基づき、市議会議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として議会の会派に交付されているものです。令和3年度、各会派に交付された政務活動費の執行状況は、次のとおりです。

(単位:円)

会 派	三原市議会 公明党	新生クラブ	新 風 会	創志会	み ら い	市民ネットワーク	三原市議会 日本共産党	緑 の 会	合 計
項 目	萩 由美子 高原 伸一 児玉 敬三	田中 裕規 木村 尚登 宮垣 秀正 仁ノ岡範之	政平 智春 徳重 政時 新元 昭	岡 富雄 村上 真以 杉谷 辰次 伊藤 勝也 陶 範昭	岡本 純祥 中迫 勇三 住田 誠 正田 洋一 梅本 秀明	中重 伸夫 岡田 直己 分野 達見	寺田 元子	角広 寛	
政務活動費 交付額(A)	900,000	1,200,000	900,000	1,500,000	1,475,000	900,000	300,000	300,000	7,475,000
預金利子(B)	3	5	3	6	7	3	0	0	27
収入計	900,003	1,200,005	900,003	1,500,006	1,475,007	900,003	300,000	300,000	7,475,027
調査費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・研究費	0	0	0	46,540	0	0	0	3,000	49,540
資料作成費	16,660	33,320	24,990	41,650	41,650	24,990	8,330	8,330	199,920
資料購入費	60,000	60,000	76,370	0	0	0	99,165	55,967	351,502
広報広聴費	0	0	0	601,190	0	0	0	0	601,190
事務費	47,520	138,270	47,520	139,577	88,121	128,481	50,873	61,941	702,303
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(C)	124,180	231,590	148,880	828,957	129,771	153,471	158,368	129,238	1,904,455
返還額(A+B-C)	775,823	968,415	751,123	671,049	1,345,236	746,532	141,632	170,762	5,570,572
執行率(%)	13.80	19.30	16.54	55.26	8.80	17.05	52.79	43.08	25.48

※1人あたり、月額25,000円を会派に交付しています。※みらいは、4月は4名、5月から5名となっています。

【支出項目の説明】 R3年度から、支出項目を変更

調査費	市の事務及び地方行政に関する調査研究のために必要な先進地視察又は現地調査に要する経費	資料購入費	調査研究等政務活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
研修・研究費	研修会・研究会に要する経費又は研修会・研究会に参加するために要する経費	広報広聴費	調査研究等政務活動、議会活動及び広報広聴活動に要する経費。要望・意見聴取の会議等に要する経費
資料作成費	調査研究等政務活動のために必要な資料の作成に要する経費	事務費	会派が行う調査研究等政務活動に係る事務処理のために必要な経費
		要請・陳情活動費	国等への補助金の要請及び陳情活動に要する経費

令和4年9月定例会 予定表 (令和4年8月1日現在)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
9	6	火	10時～	本会議 開会
	8	木		本会議 一般質問
	9	金		本会議 一般質問
	12	月		本会議 一般質問 (予備日)
	13	火		常任委員会 (総務財務)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
9	14	水		常任委員会 (厚生文教)
	15	木	10時～	常任委員会 (経済建設)
	16	金		補正予算特別委員会
	20	火		決算特別委員会 (企業会計)
	22	木	14時～	本会議 閉会

※都合により日程を変更することがあります。

編集委員のつぶやき

食品や電気料金等の値上げラッシュが生活を直撃。また、ロシアのウクライナ侵攻により安全保障が大きく揺らいでいる。

そんな地球をよそに、はやぶさ2は、果てしない宇宙から6年の探査を終え20年12月に帰還。小惑星りゅうぐうから採取した石や砂からアミノ酸が検出され、生命の起源解明が期待される。今後の研究結果にワクワク感を覚える。

市議会は、市民へ情報を提供・共有しながら、市民の声を幅広く聴き施策に活かして、夢と希望の宝を将来の実現に向け努力したい。

中迫 勇三

議会広報部会員

岡 富雄・高原伸一・村上真以
岡田直己・角広 寛・中迫勇三
住田 誠・木村尚登・宮垣秀正
徳重政時・新元 昭・寺田元子

※「市議会だより」は、市役所1階ロビー・各支所・中央公民館・各地のコミセン等でも配布しております。

三原市議会広報広聴委員会

三原市港町三丁目5番1号

TEL 6716137

FAX 6314545

沼田小ちんこんかん

「沼田小ちんこんかん」は、沼田小学校に伝わる伝統行事で、広島県の無形民俗文化財に指定されている「沼田のちんこんかん」を基につくられています。「沼田小ちんこんかん」は、地域の方々に教えてもらいながら、全校児童で諦めずに頑張っています。

ちんこんかんは、赤い衣装を着て鬼の面を着け、小さい破魔弓を持った「大鬼」と、六尺棒を持った「子鬼」が、大太鼓や小太鼓、鉦の音に合わせて踊ります。ちんこんかんは、少しでも音がずれると、全体がバラバラになってしまい、立ち直りにくく、演技を続けることが難しくなってしまうのです。だから、ぼくたちは、ずれないように周りの音をしっかりと聞いて演技をしています。

この伝統は、最高学年の六年生が先生たちと共に下の学年にしっかりと教えて、次の代の人たちが受け継ぎます。僕は、五・六年生と大太鼓をしていて、最初はリズムやたたき方があまりわからなかったけれど、前の六年生や先生に教えてもらったり、上の学年



のいいところをまねしたりすると、段々とわかってきました。

他の地域の踊りは、一人一人がすぐ自信を持って大きく踊っていますので、すぐ迫力があります。僕も自信を持って大きく踊り、「沼田小学校のちんこんかんはすごいな」、「僕達もあんなふうに踊りたいな」と思ってもらえるような演技をするために頑張りたいです。そして、さらにそれをずっと続けられるように、最後まで全力で取り組み、沼田の大切なちんこんかんを受け継いでいきたいです。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第49回 —

命のバトン「救える命・守れる笑顔」掲げて

「献血ボランティア活動」

私たちの通う第一中学校は、「ありがとう」の笑顔があふれる学校です。そんな私たちの中学校では、生徒会がコロナ禍の令和二年八月から献血ボランティア活動を行っています。

この活動のきっかけは、赤十字血液センターの方を講師に学校で献血セミナーを受けたことでした。献血を必要とする人の経験が語られた動画を観て「今日元気で、病気やケガは突然起こる。命は自分の力だけでは守りきれない時がある。だから、献血は絶対に必要だ。」と思いました。そして、コロナ禍で献血が減少している現状を知り、「病気やケガで苦しんでいる人の力に少しでもなりたい。」そんな気持ちが強くなりました。数日後、当時の生徒会長の、「僕たちはまだ献血をすることはできないが、献血を呼びかけることならできる。」という言葉が胸に刺さり、私たちは献血ボランティア活動への参加を決めました。今では活動のたびに、全校の過半数が参加します。

活動に向けて、どうすればより多くの人に献血に協力してもらえるかみんなで知恵を絞っています。

例えば、一目で献血活動だとわかるように、文化部が作ったプラカードを身体の前後に着け、自作のビラを配付しながら献血を呼びかけます。

私たちの呼びかけに応えて、毎回多くの市民の皆さんが献血してくださり、活動のたびに献血者数の過去最高を更新しています。活動は正直疲れるけど、苦しんでいる誰かの命と笑顔を守れたのではないかと思うと、うれしい気持ちでいっぱいになります。

献血は、人と人の心を繋ぐバトンのようなものだと考えています。このバトンをもっとたくさんの人に渡せるように、献血ボランティア活動を、第一中学校生徒会の伝統として続けてほしいと願っています。

